

紙袋はりなどの 技術を習得

…くすの木学園に18人が通園…

くすのき学園が開園して1カ月。18人の園児たちは1日も早く社会復帰ができるようにと、技術の習得に一生懸命です。このくすのき学園は、精薄者が社会復帰できるまで生活指導や職業訓練をする通園施設で、市立では富士市にはじめてつくられました。

施設は木造平屋建てで、作業室や休憩室などがあり定員は30人。現在第1段階として15歳から48歳までの18人が入園しています。

ここでの生活は、朝の清掃ではじまり、紙袋はりなどの作業を行ないます。園児たちは作業に熱心で、ノビノビと楽しそうに園生活をおくっています。

これまで市内には、15歳までの精薄児童を収容する市立ふじやま学園、18歳から3カ年収容する県立富士見学園がありました。これらの施設は収容年限があり指導が中途半ばな場合もありましたが、この通園授産施設の完成によつて、一貫した訓練ができるようになりました。

なお、あとの入園者については現在書類選考などを行なつており、7月までには定員いっぱいになる予定です。



【楽しそうに作業を習う園児たち】



こどもの日 おめでとう

5月5日はこどもの日。むかしは端午の節句とよび、元気なこどもに育つようにと、鯉のぼりをあげました。鯉のぼりの姿は、どの子もすこやかに正しく、心うつくしく育ち、社会の役に立つ人になるようにという、親の願いがあらわれています。

わたしたちの富士市は、あたたかい気候と、うつくしい風土にめぐまれ、工業都市として栄えています。近代的な工場や学校、道路がつくられています。

みなさんが、この恵まれた富士市のあたたかい家庭のなかで、すくすくと育ち、つぎの時代をになう立派な人に成長されることを期待します。

富士市長 渡辺彦太郎

44年の工業出荷額が 3000億円を突破

…目立つ重工業の伸び…

富士市の工業出荷額が3,000億円の大台を突破し、昭和44年度は3,130億円にのぼりました。これは浜松市の3,375億円について県下2位です。

工業統計調査は、毎年12月31日現在で実施し、産業別事業所数や従業者数を調べる国の指定統計です。

これによると、工業出荷額は43年の2、

542億9,224万円にくらべ、587億4,496万円多い3,130億3,700万円に達しました。このうち、紙・パルプ・紙加工品が1,465億円と、全体の46.8%をしめています。ついで一般機械器具の499億円、化学工業の451億円、輸送用機械器具の389億円の順になつています。なお、産業別にみると軽工業が1,676億円で53.5%をしめています。重工業が年々伸びているのが目につきます。

事業所数は43年の1117にくらべ35事業所がふえ、1152事業所になりました。従業者数も43年にくらべて2229人多くなり41585人になりました。

第4回書道展

＝作品を募集＝

■応募資格は

市内に住んでいる人、または市内に勤務しているか通学している人。

■種別と規格は

毛筆および硬筆。毛筆は全紙縦1枚以内、硬筆は仕立てはば1紙以内で、いずれも1人2点以内。

■搬入日と場所は

45年6月17日午前8時30分から午後7時まで。場所は富士文化センター。